

第66号

本巢市 議会だより



▲船来山58号墳(本巢市上保地内)

contents

令和2年第1回定例会開かれる	……P. 2
1会派が代表質問に立つ	……P. 5
8人が一般質問に立つ	……P. 6
委員会活動	……P.10
議員研修	……P.13
審議結果	……P.15
特集	……P.16

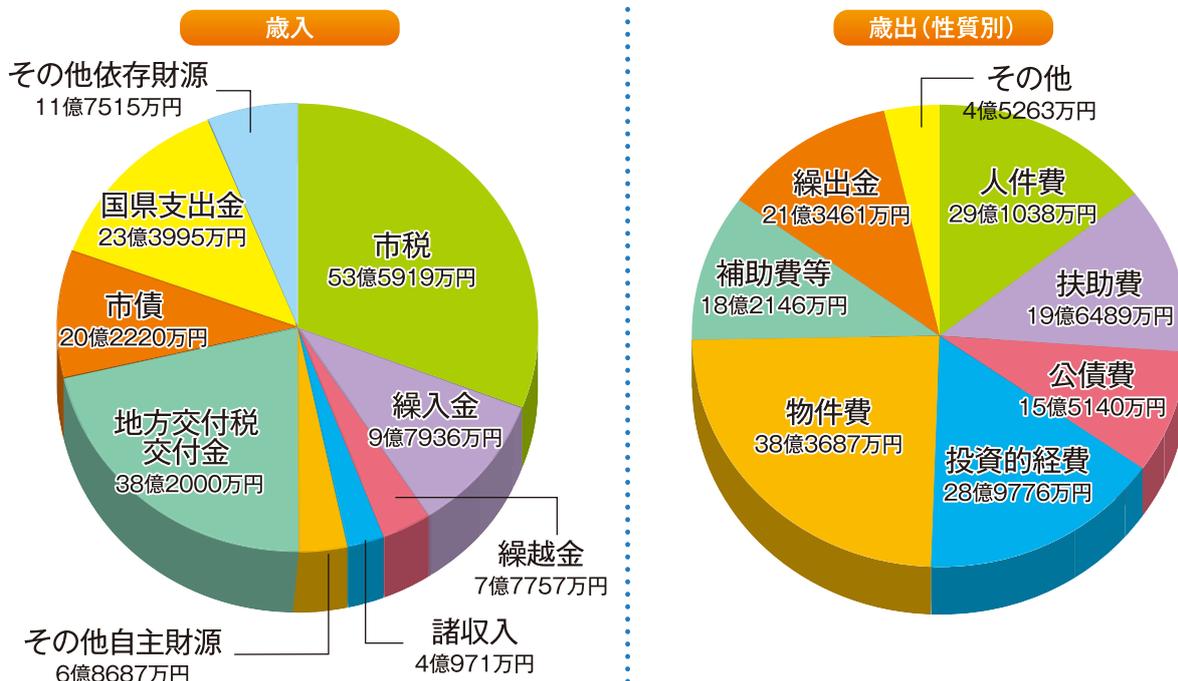
定例会開かれる

定例会を開き、人事案件7件、条例制定2件、その他6件について審議・決定しました。

令和2年度本巣市一般会計予算

本巣市一般会計予算…175億7千万円

前年度より6億9千万円の増額(伸率4.1%)



令和2年度特別会計・企業会計予算

会計名		予算額
国民健康保険特別会計	事業勘定	35億5000万円
	施設勘定	2億4300万円
後期高齢者医療特別会計		4億5300万円
企業用地造成事業特別会計		4億 700万円
農業集落排水事業特別会計		7億2900万円
水道事業会計	収益的事業	8億6900万円
	資本的事業	7億8638万円
下水道事業会計	収益的事業	3億9500万円
	資本的事業	1億5677万円



令和2年 第1回

3月9日～3月27日、令和2年第1回
 条例改正10件、補正予算2件、当初予算7件、

令和2年度の主な事業

住みやすく安心して暮らせるために

- 乳がん検診web予約事業 ……65万円
 がん検診の受診率向上を図るためweb予約を導入し、夜間や休日にも予約ができるよう環境整備する
- 医療用ウィッグ購入費助成事業 ……5万円
 がん患者の療養生活の質の向上を図るため、がん患者の医療用ウィッグ(全頭用)の購入費用を一部助成する
- 産後ケア事業 ……248万円
 産後の身体的回復と心理的安定を促進し、母親とその家族が健やかな育児ができるよう支援する
- 防災行政無線設備再整備事業 ……9,267万円
 耐用年数を経過した防災行政無線設備を更新するとともに制度改正により適合しなくなる機器を更新する

障がい者・高齢者の安心のために

- 障がい者福祉計画策定事業 ……330万円
 障がいのある方の自立と社会参加を促進し、安心して暮らせる本巢市の実現を図る計画を策定する
- シニア元気いきいき支援事業 ……892万円
 65歳以上の高齢者に対し、樽見鉄道乗車券、うすずみ温泉入浴券及び食事券がセットになった利用券とぬくい温泉入浴券を交付する
- 避難行動要支援者支援事業 ……401万円
 避難行動要支援者名簿管理システムの更新を行う

地域振興に関する取り組み

- 地域おこし協力隊事業 ……566万円
- ふるさと納税促進事業 ……21,642万円
- 市民協働サポートセンター運営事業 ……300万円

児童・生徒・学校の環境整備のために

- 教科専門指導員配置事業 ……3,121万円
 専門的な指導力を有する教員を小学校に指導員として配置し、カリキュラムや指導方法等の工夫改善を図る
- スクールロイヤー配置事業 ……40万円
 トラブルが予測される段階から、学校の相談先として教育や福祉、権利等に関する助言を受ける
- 義務教育学校改修事業 ……1,366万円
 根尾中学校の校舎を改修し、「根尾学園」(義務教育学校)の開校を目指す
- 真桑・弾正幼稚園整備事業 ……67,721万円
 真桑・弾正幼稚園の建設工事等を行う
- 幼稚園施設防犯カメラ設置事業 ……1,049万円
 市内8幼稚園及び子どもセンターの計9施設に防犯カメラを設置し安全・安心な園生活を確保する
- 青少年国内派遣事業 ……255万円
 青少年が郷土本巢市の良さを見つめ、主体的に本巢市の強みを活かしたまちづくりを考えることを目的とし、沖縄派遣事業を実施する

道路や橋梁などを整備します

- 長良糸貫線道路整備事業 ……39,675万円
- 市道糸貫0007号線整備事業 ……2,341万円
- 市道真正1007号線整備事業 ……8,393万円
- 市道糸貫4168号線整備事業 ……1,010万円
- 市道真正2007号線整備事業 ……1,057万円

その他事業

- 公共施設等総合管理計画フォローアップ事業 ……715万円
- 庁舎整備事業 ……6,188万円
- 第2次総合計画後期基本計画策定事業 ……1,255万円

●定例会で決まったこと●

主な議案

人事案件

- 監査委員の選任
 - ・三田村 晃司氏
- 人権擁護委員候補者の推薦
 - ・山田 郁恵氏 ・矢野 博行氏 ・長屋 八代美氏
- 教育委員会委員の任命
 - ・村瀬 里佳氏
- 副市長及び固定資産評価員の選任
 - ・大野 一彦氏



令和元年度補正予算

- 令和元年度本巣市一般会計補正予算(第6号)
29万円の増額補正により、総額174億395万円に
主な歳入

・子ども・子育て支援臨時交付金	2,500万円
・学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	4,536万円
・ふるさととす応援寄附金	12,000万円
・財政調整基金繰入金	△10,000万円
・合併特例債	△15,620万円

 主な歳出

・ふるさと納税促進事業費	4,496万円
・重度心身障害者医療費	678万円
・母子家庭等医療費	102万円
・PA周辺公園整備事業における公園整備工事	△16,449万円
・学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業における小・中学校施設改修工事費	8,982万円
- 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
4,083万円

条例制定

- 本巣市行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例について

条例改正

- 本巣市職員定数条例の一部を改正する条例について
- 本巣市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例について
- 本巣市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 本巣市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 本巣市基金条例の一部を改正する条例について
- 本巣市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 本巣市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について
- 本巣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 本巣市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 本巣市市営住宅条例の一部を改正する条例について

その他の議案

- 権利の放棄について
- 本巣東辺地に係る総合整備計画の変更について
- 根尾東辺地に係る総合整備計画の変更について
- 根尾西辺地に係る総合整備計画について
- 市道路線の認定及び廃止について
- 指定管理者の指定について(根尾林業センター)
- 専決処分の報告について
 - ・公用車の事故に係る損害賠償
 - ・集水柵の接触事故に係る損害賠償

本巣市議会議員補欠選挙について

令和2年2月16日の市議会議員補欠選挙で、次の1人が議員に当選されました。

・高橋 勇樹 (敬称略)



●代表質問●

Q & A

3月定例会

1会派が代表質問に立つ



市政自民クラブ代表
若原敏郎

市長4期目の再選で、この4年間の構想は

4期目を迎えられ、市を取り巻く環境の変化に順応できる藤原市長の構想を伺います。

Q1 これまでに特に取り組んできた事業の成果は

A1 6項目の基本施策を着実に実施してきました

藤原・市長

①雇用の場や税収の確保、人口減少対策の積極的な取り組み、②保育と教育機会均衡の推進、乳幼児からの保育・教育環境の整備、少子化対策や子育て支援の推進、③高齢者対策、介護予防対策、障がい者対策、④地域で助け合う共助のしくみの強化、災害時における対応力の強化、防災力の強化、⑤市民の移動手段の確保、⑥学校教育施設の整備、子どもたちの教育環境の充実などの施策を実施してきました。

Q2 今後4年間に重点的に取り組む事業は

A2 I・Cの立地条件を活かした企業

誘致や観光産業の活性化など

全ての子どもが健やかに育つ環境整備。障がい者や高齢者が住み慣れた地域で健やかに暮らせる取り組み。災害発生時ににおいて人命の保護、重要機能の維持、被害の最小化、迅速な復旧作業が行える「国土強靱化地域計画」の策定。P・A隣接地に防災機能を有する都市公園の整備。学校施設の改善や児童1人1台のタブレットを整備する情報教育等、重点的に進めます。

Q3 本巢市が目指す、中・長期的な構想は

A3 現在実施・計画している事業全てが基盤づくりと認識

総合計画の目指す将来像である「自然と都市の調和の中で人がつながる 活力あるまち・本巢」を実現していきます。

Q4 今後の財政計画について

後年度の公債費償還額が増加すると考えられるが、今後の財政計画は。

A4 公債費のピークは令和5年度で17.2億円を見込む

藤原・市長

地方債借入は、可能な限り交付税算入のある有利な地方債を借入しています。ピーク時の令和5年度では、普通交付税の需

要額に算入される公債費は

13.2億円で、実質の経費負担となる差額は4億円の見込みです。その後の年度も差額は3億3,600万円の見込みです。今後の財政計画では、集中投資期間終了後は、150億円前後の財政規模に縮減し、健全財政を維持します。

Q5 市の教育環境について

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急措置対応と、その他学校教育については。

Q1 小・中学校の臨時休業に関する対応や今後の配慮は

A1 国の要請を受け、子どもの命と健康を守ることを最優先に

川治・教育長

3月2日から小・中学校を臨時休業にしました。不要不急の外出を控え予防対策を続けることや、学校の日課と同じように規律正しい生活をするなど指導しました。留守家庭教室は、生活指導員や教員の勤務時間のスライドなど、対処しました。卒業式は、内容の削減、時間の短縮、参加者の縮小など、できる限りの対策を実施しました。現在は、状況を把握のため、電話・家庭訪問をしています。

Q2 いじめの未然防止や発生時の

対応と、今後の考えは

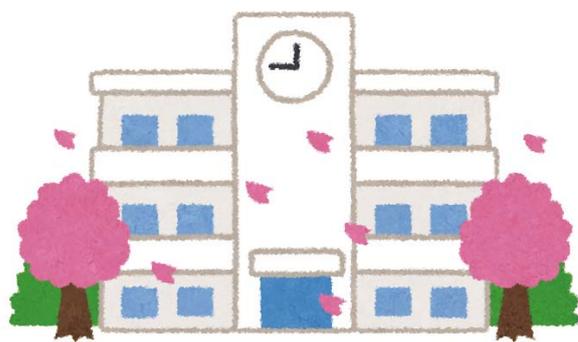
A2 弁護士を「スクールロイヤー」として位置付けます

また、全教職員対象にいじめ発生時の担任の心理「正常性バイアス」や、陥りやすい不適切な対応を話し、組織的かつ迅速な対応の重要性、管理職と職員の間関係、子どものサインの見抜き方などを伝えました。

Q3 来年度の教育の重点事業は

A3 幼児教育課を新設など

幼・小・中と連続した学びのために、幼児教育課を新設などし、小学校に教科専門指導員を配置。中学2年の「広島研修」と中学生を沖繩に派遣します。



Q & A

●一般質問●

3月定例会

8人が一般質問に立つ



臼井悦子

● 新型コロナウイルス感染症の対策について

新型コロナウイルスの発生により、各国が生命の危機感を募らせる中、国からの要請など、今後も不安な状況が続くと考えられます。また、小・中学校の休校に伴う、学習支援対策などの内容について確認します。

Q1 市の感染防止対策は

A1 感染拡大防止のための措置を徹底しています

久富・健康福祉部長

イベント等は原則中止もしくは延期、必要な場合は、規模の縮小、市の施設利用は、自発的な自粛を促し、感染防止対策など、適切な情報提供に努めます。

Q2 小・中学校の休校による、家庭学習支援は

A2 臨時休業中の家庭学習では、「自学」の力を付けます

川治・教育長

休業中に「自主学习ノート」をつくること。「読書」のチャンスでもあり、読書記録や本の紹介を書く指導など行いました。担任の電話連絡や家庭訪問など

家庭学習の継続を推奨しています。

● 市民協働まちづくり推進について

市民協働サポートセンターが運営活動されている現状、市民に広く浸透し、その推進が望まれます。

Q1 市民協働サポートセンターの運営状況は

A1 市民の方々が気軽に情報交換できる空間として運営

大野・企画部長

市民活動に携わられている方々で構成する中間支援組織「サポートセンター運営チーム」が主体となり、糸貫ぬくもりの里で運営しており、社会福祉協議会職員や市職員も参加し、市民との交流の場にもなっています。

Q2 事業の成果は

A2 福祉有償運送事業を行う市民団体が新設されました

広域市民大学が本県市を拠点に新設されたり、わいわいカフェなど「異世代間・異業種間」の交流が促進され、元年度、移動困難な高齢者や障がい者の方の支援を行う事業が展開されたことが、「まわる市民協働」として大きな成果です。



今枝和子
(公明党)

● 市内幼稚園の保育の質の向上について

保育士が事務的業務をも担っており、保育の準備をする時間が十分確保できない現状があります。

Q1 事務職員の配置やICT化への考えは

A1 施設職員を配置しシステムの拡張を図ります

久富・健康福祉部長

Q2 未満児の使用済み紙おむつを園で処分する考えは

A2 効果等を検証して検討します

● GIGAスクール構想について

Q1 1人1台タブレット端末導入の計画と効果は

A1 令和5年度までに整備が完了できるよう計画しています

川治・教育長

個別学習・問題解決学習・家庭学習に効果があると考えます。

Q2 端末で指導する教員や児童生徒への情報モラル教育は

A2 モデル校の実践から段階的に学ぶ教員研修を考えています

● 地球温暖化対策について

気候変動に対する強い危機感を全市民と共有し、温暖化対策を推進したいと考えます。

Q1 「気候非常事態宣言」と「環境家計簿」に対する考えは

A1 「環境家計簿」につきましては周知します

洞口・市民環境部長

「気候非常事態宣言」については県内他市町村の動向を注視しながら検討します。

Q2 太陽光発電システム・蓄電システム補助事業の考えは

A2 太陽光発電システムは時期を見極め終了する予定です

蓄電システム補助については導入している市町を参考に検討します。

● SDG・sの本市における更なる取り組みについて

Q1 庁舎等にタブレットやアイコン表示で周知する考えは

A1 有効であると考えますので検討します

大野・企画部長

Q2 内閣府「官民連携プラットフォーム」入会の考えは

A2 加入に向けて検討します

● 一般質問 ●



高田浩視

緊急時の市の対応について

ウイルス感染の危険は収まっています。更なる災害の発生は、市民の安全を脅かします。

Q1 情報発信の方法は

A1 ヤフーと災害に係る情報発信に関する協定を締結しました

畑中・総務部長

情報の聞き誤り等による避難時の混乱解消につながります。

Q2 分庁舎方式での対策会議の開催の課題は

A2 市災害対策本部への迅速な参加が困難です

*他にマスク等の備蓄の取り組みについて質問しました。

市債について

一般会計等に係る地方債の現在高見込額は、前年度比でそれぞれ、令和元年度末で4.1億円、2年度末で5.4億円の増額となっております。

Q1 市債の状況は

A1 地方債を活用した事業が増加し現在高も増加しています

大野・企画部長

Q2 低金利における起債の効果は
A2 将来的な償還利息の抑制につながります

Q3 将来の健全化判断比率に対する方針は

A3 残高は令和4年度、償還額は5年度にピークを迎えます

実質公債比率8.8%、将来負担比率71.8%と上昇を見込んでます。国が示す基準以下であり健全性は維持できます。

就学前の子どもへの虐待について

児童虐待により子どもの尊厳が奪われる重大な事件が大きな社会問題となっております。

Q1 対処した実績の状況は

A1 いずれも通告から48時間以内に安否確認を行ってます

久富・健康福祉部長

Q2 支援家庭の転出入による他市町との連携は

A2 市町村担当者及び児童相談所とケース会議を行ってます

Q3 社会的に孤立して行政や地域から見逃されていませんか

A3 市内3箇所の子育て支援センターで支援を実施してます

Q4 生活基盤の崩壊などが見られる家庭に対する市の対策は

A4 一歩踏み込んだ形で支援策を一緒に考えます



寺町 茂

安心なまちづくりについて

人口減少、少子高齢化など深刻な問題を抱える中、将来にまでわたる安定した「子どもから高齢者まで、だれもが安心して生活できるまち」の構築が望まれます。

Q1 幼児園への専門的職員の配置の考えは

A1 養護教諭の増員と施設事務員の新設を行います

久富・健康福祉部長

養護教諭と施設事務員の配置を行い、保育士の働き方改革を進め、保育の質を低下させないように努めます。

Q2 高齢者タクシートの助成額引き上げの考えは

A2 月4枚、年間最大48枚に増やします

Q3 いじめ防止と教職員のメンタルケアは

A3 スクールロイヤールと契約し、防止、早期対応等に取り組む

Q4 今年度の学力に関する施策と効果は

川治・教育長

A4 専門指導員の配置により、子ども、教師共に力を付けた

三つの側面からの成果が明らかになりました。一つは児童にとつて魅力ある授業になっていること。二つ目は担任の指導力向上に役立っていること。三つ目は教員の働き方改革に寄与したことです。

Q5 来年度以降の教育方針は

A5 確かな学力を身につけていく教育を目指します

①指導手引きの改定、②専門指導員の科目を拡大、③すべての学年の算数、数学の特色ある授業づくりなどに、より一層取り組みます。

*他に、「拡大する荒廃農地、耕作放棄地への市の対応」等について質問しました。



● 一般質問 ●



河村志信

Q 地域活性化のための電子地域通貨の導入について

電子地域通貨でお金の地産地消が実現。

Q1 もとまる商品券の現状、利用状況、市の経済への貢献度は
A1 敬老会など助成金をもとまる商品券にて交付してま

原・産業建設部長

市からの助成金等の支給が現金の場合、預貯金や市外で消費されることもありませんが、商品券の場合、市内で消費されることから、3割以上の市内商工業者が売り上げ増加に繋がったと評価をいただいています。

Q2 キャッシュレス時代を踏まえた電子地域通貨導入の考えは
A2 県内では飛驒のさるぼほコインがあります

大野・企画部長

地域通貨は、地域内で消費が循環することで地域経済の活性化につながり、そうした仕組みを電子化することで、さらなる地域経済の活性化が図られるものと考えますが、今後の地域通

貨の電子化については、地域における消費喚起に繋げるための施策として取り組むことが重要であると考えます。

Q 教育における問題解決策について

いじめや不登校、引きこもりなど多くの問題を抱えています。イエナプラン教育についてどのように考えますか。

A イエナプランは「方法」ではなく「目指す力」です

川治・教育長

児童生徒に付けたい力や新たな教育目標を明確にしながら、目指す子ども像を明確に描き、その理念が実証できる教育に進めます。



澤村均
(日本共産党)

Q 体育館のエアコン設置の計画について

A 今後財政的な負担を考慮しつつ検討をしていきます

藤原・市長

市内の小中学校の体育館は、学校教育の使用のみならず、災害時には地域住民の避難所として重要な役割を担っています。近年記録的な猛暑も続いており、適切な避難所としての温度管理など良好な生活環境を確保する事が求められています。

Q 災害時の備蓄備品について
段ボール製品の備蓄備品の現状と、今後の対応は。

A 段ボール製品は容量が大きくなりスペースの確保が困難です

畑中・総務部長

段ボール製ベッド等はメーカーと支援協力協定により優先的に提供されます。

Q 高齢者社会への対応について

A 可燃ごみ等の持ち込みが困難な高齢者世帯への支援の考えは、集積場所の箇所数を増やす

ことは困難な状況です

洞口・市民環境部長

障がい者のみの世帯や65歳以上の高齢者のみの世帯には、市の条例に基づき申請により粗大ごみの収集運搬の免除を行います。可燃ごみについては、対応可能な方法について調査研究します。

Q 小中学校でのいじめ問題について

Q1 親、子、学校が日頃から話し合いを持つ機会は

A1 家庭訪問や個別懇談等、教育相談アンケートを行います

川治・教育長

最も大切な事は、親、子、教師との相互信頼関係であり、家で学校の出来事を話せる環境も大切です。

Q2 学校教員と教育委員会の間の連携は

A2 常に学校と連携して取り組んでいます

*他に林業育成の質問をしました。



● 一般質問 ●



黒田芳弘
(市政自民クラブ)

Q 新型コロナウイルスの対応

更なる危機管理体制が必要と思われま

す。

A1 これまでの経緯について
Q 市の連絡協議を開き措置を徹底して

早川・副市長

国の基本方針を受け、県の対策協議会の開催後、市の感染症対策連絡協議会を開き、対応方針を決定しました。

Q2 現在の対策と問題点、課題は

A2 休校により、卒業式、給食、留守家庭教室拡大などに影響

Q3 今後の想定や、その対応は

A3 想定は非常に難しく、取り組みを継続し対応に努めます

Q4 更なる危機管理体制の確立は

A4 指針の改正や対応マニュアルを作成し、管理体制を充実

Q インターチェンジ活用のみ

ちづくり

効果を最大に発揮する政策は喫緊の課題です。

Q1 グルメ、土産品等商品開発は

A1 地元産品、観光資源を活用

原・産業建設部長

徳山唐辛子、ジビエ使用の食品開発や淡墨桜、もとまる、能郷白山等活用し取り組んでいます。

Q2 新たな観光施策は

A2 誘客エリアを広げ、船来山古墳を活用する検討をします

Q3 企業誘致の取り組みは

A3 8箇所の適地に誘致を図り、既存企業の用地の拡大も支援

Q4 起業家、小規模事業者へのサポートは

A4 補助金制度活用を周知し、経営相談等で支援していきます

Q 人材育成と市民協働の活性化について

次代を担う人材育成は、喫緊の課題。市民協働促進と教育環境の充実を考える。

Q1 市民協働サポートセンターの現状とさらなる充実

A1 市民が身近な課題を共有する仕組みが構築されました

大野・企画部長

広域市民大学として、「よだかの学校」が生まれたことと「まわる市民協働」への指導・助言・支援を継続していきます。

Q2 義務教育学校の工程と構想は

A2 令和4年4月の開校、共生と自立、人間力を付ける学園

川治・教育長

※ 鏑本議員からは多面的機能支払交付金の事業実施の在り方について、名鉄揖斐線廃線敷地の購入及び有効活用について、指定金融機関についての質問がありました。

議員活動日誌

日付	場所	会議名等
2月3日(月)	真正分庁舎	もとす広域連合 総務介護常任委員会
2月4日(火)	可見市	第283回岐阜県市議会議長会
2月6日(木)	真正分庁舎	もとす広域連合 議会定例会(閉会)
2月25日(火)	西濃環境整備組合	第1回西濃環境整備組合議会定例会
3月2日(月)	本庁舎	議会運営委員会
3月9日(月)	本庁舎	全員協議会 本会議(開会)
3月11日(水)	本庁舎	予算決算委員会 議会運営委員会 本会議(代表・一般質問)
3月16日(月)	本庁舎	本会議(代表・一般質問)
3月17日(火)	本庁舎	本会議(一般質問)
3月18日(水)	真正分庁舎	文教福祉委員会・予算決算分科会
3月19日(木)	糸貫分庁舎	産業建設委員会・予算決算分科会
3月23日(月)	本庁舎	総務企画委員会・予算決算分科会
3月24日(火)	本庁舎	予算決算委員会
3月26日(木)	本庁舎	議会運営委員会
3月27日(金)	本庁舎	全員協議会 本会議(閉会)
4月2日(木)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
4月9日(木)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
4月15日(水)	本庁舎	議会だより編集特別委員会

●委員会活動●

～委員会活動～

予算決算委員会

【予算決算委員会 3月11日(水)】

執行部からの令和2年度当初予算の補足説明

【文教福祉分科会 3月18日(水)】

主な質疑の内容

○健康福祉部に属する一般会計予算

- ・産後ケア事業における宿泊型1泊3万円の事業内容について
- ・医療用ウィッグ購入費助成事業の内容について
- ・大腸がん検診の助成がなくなったことについて

○教育委員会に属する一般会計予算

- ・沖縄への青少年国内派遣事業のあり方について
- ・スクールロイヤー配置事業及び教科専門指導員配置事業の内容について
- ・強化専門指導員配置事業の内容について

○市民環境部に属する一般会計予算

- ・マイナポイントの導入時期と、マイナンバーカードの交付が伸びない要因について

【産業建設分科会 3月19日(木)】

主な質疑の内容

○上下水道部に属する一般会計予算

- ・水道事業会計補助金の減額について
- ・水道事業の現状について

○産業建設部・林政部及び根尾総合支所に属する一般会計予算

- ・中山間地域担い手育成支援事業の具体的内容について
- ・スマート農業の実態について
- ・農地中間管理機構関連農地整備事業の内容について
- ・南部地域における地籍調査が進まない要因について
- ・森林環境譲与税の主な事業内容について
- ・木の駅未利用材搬出支援事業の内容について

○企業用地造成事業特別会計予算

- ・オーダーメイドによる企業誘致での契約方法について

○本巢市農業集落排水事業特別会計予算

- ・新築家屋等の所有者への加入促進について

○本巢市下水道事業会計予算

- ・公共枿の設置はあるが未接続となっている理由と対応について

● 委員会活動 ●

【総務企画分科会 3月23日(月)】

主な質疑の内容

○ 企画部に属する予算

- ・地域おこし協力隊による事業承継ミッションの経過について
- ・ふるさと納税促進事業の状況について
- ・会計年度任用職員制度となった場合の待遇について

○ 総務部に属する予算

- ・樽見鉄道(株)への支援期間について
- ・地域乗り合いバス路線維持費補助金の増額理由について
- ・法人市民税の申告に係る市の対応について

【予算決算委員会 3月24日(火)】

※ 審査の結果、全員賛成となった案件

- 令和2年度本巢市後期高齢者医療特別会計予算について
- 令和2年度本巢市企業用地造成事業特別会計予算について
- 令和2年度本巢市農業集落排水事業特別会計予算について
- 令和2年度本巢市水道事業会計予算について
- 令和2年度本巢市下水道事業会計予算について

※ 審査の結果、賛成多数となった案件

- 令和2年度本巢市一般会計予算について
- 令和2年度本巢市国民健康保険特別会計予算について

予算決算委員会における意見書の提出

予算決算委員会において、次のとおり意見を取りまとめ議会として市長へ意見書を提出しました。

一般会計において、水道事業会計及び下水道事業会計への多額の基準外繰出金が充てられ、大きな財政負担となっている。本来、企業会計は独立採算が基本であることから、一般会計からの基準外繰出金について、軽減を図られたい。



▲市長へ意見書を提出する議員

●委員会活動●

文教福祉委員会

3月18日(水)

審査付託案件

※審査の結果、全員賛成となった案件

- 本巣市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 本巣市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

- ・根尾診療所の歯科医療の診察状況について

- 本巣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 本巣市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

- ・保育料無償化による副食費の保護者負担の考えについて
- ・子育て世代への援助のため無償として差別化する考えについて

産業建設委員会

3月19日(木)

審査付託案件

※審査の結果、全員賛成となった案件

- 本巣市市営住宅条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

- ・「不正に入居したもの」の具体的な内容について
- ・利率の改正の内容について
- ・不正入居の事例について

- 公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

- ・企業会計にすることによるメリットについて

- 市道路線の認定及び廃止について

主な質疑の内容

- ・すでに側溝等が破損している箇所が見受けられるがその対応について
- ・行き止まりの道路について
- ・市道本巣3118号線の橋梁廃止の具体的内容について



▲市道認定路線を視察する委員



▲樽見鉄道高架橋工事現場を視察する委員

● 委員会活動 ●

総務企画委員会

3月23日(月)

審査付託案件

※審査の結果、全員賛成となった案件

- 本巢市行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例について

主な質疑の内容

・幼児教育課の事務所の位置及び留守家庭教室の所管について

- 本巢市職員定数条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

・幼稚園長を任期付職員としたことによる定員増の概要について

- 本巢市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について
- 本巢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

・「一定の金額以内」における改正について、なぜ「以内」とするのかについて

- 本巢市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 本巢市基金条例の一部を改正する条例について

主な質疑の内容

・根尾川花火大会基金の積算基準と、基金充当に係る考えについて

● 議員研修 ●

議員研修 臼井議員、今枝議員
令和元年度市町村議会議員特別セミナー②

令和2年1月16日・17日 場所:千葉県 市町村アカデミー

1月16日 スーパー公務員のチャレンジ

講師：立正大学客員教授 高野 誠鮮 氏

企業とともに発展する行政

講師：神戸国際大学経済学部教授 中村 智彦 氏

1月17日 子どもの声がする地方づくり

講師：関西大学人間健康学部長・教授 山縣 文治 氏

防災と危機管理－地方議会の役割と課題

講師：明治大学名誉教授 中邨 章 氏



▲研修を受ける議員

● 議員研修 ●

議員研修 堀部議員 令和元年度市町村議会議員研修

自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～

令和2年1月22日・23日 場所:滋賀県 全国市町村国際文化研究所

1月22日 地方自治体の財政運営と議員の役割～地方財政の現状と健全化法の概要～

講師：関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢 克祐 氏

自治体財政指標の見方

講師：有限責任監査法人トーマツ 行政経営推進室 小室 将雄 氏

1月23日 財政指標分析に関するグループ演習

演習のまとめと今後の自治体財政のポイント

講師：有限責任監査法人トーマツ 行政経営推進室 小室 将雄 氏



▲研修会場のようす

議員研修 高田議員

令和元年度第3回市町村議会議員特別セミナー

令和2年1月27日・28日 場所:滋賀県 全国市町村国際文化研究所

1月27日 社会福祉と財政システム

講師：京都大学大学院経済学研究科／地球環境学堂教授 諸富 徹 氏

超高齢化社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり

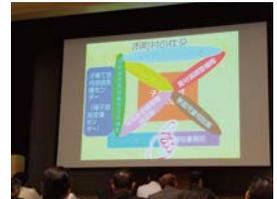
講師：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 氏

1月28日 児童福祉の現状と課題

講師：関西大学人間健康学部人間健康学科教授 山縣 文治 氏

障がい者の就労と暮らしの支援について

講師：東近江圏域働き・暮らし応援センター”Tekito-”センター所長 野々村 光子 氏



▲研修会場のようす

議員視察研修 市政自民クラブ(若原・大西・瀬川・黒田議員)、河村議員

視察先:岐阜県岐阜市、福井県敦賀市、滋賀県草津市

令和2年2月19日・20日

視察研修内容

○岐阜市 岐阜市歴史博物館「麒麟がくる」大河ドラマ館

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」から郷土の歴史、観光化へのヒントを探る

○敦賀市 敦賀市立博物館

水戸天狗堂にまつわる歴史から根尾との関わりについて

○草津市 アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

まちづくりの拠点、未来のまちのデザインを
考えるため、大学、企業、行政の連携について



▲敦賀市立博物館を視察する議員

● 審議結果および各議員の表決 ●

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和2年第1回定例会																			
議案番号・議案名等		議決結果	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩規	寺町 茂	河村 志信	澤村 均	堀部 好秀	鏑本 規之	黒田 芳弘	臼井 悦子	道下 和茂	村瀬 明義	若原 敏郎	瀬川 治男	上谷 政明	大西徳三郎	
市長提出議案	議案第25号 令和2年度本巢市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年第1回定例会 (全会一致で可決された議案)					
市長提出議案	議案第1号	本巢市監査委員の選任について	市長提出議案	議案第18号	権利の放棄について
	議案第2号	人権擁護委員候補者の推薦について		議案第19号	本巢東辺地に係る総合整備計画の変更について
	議案第3号	人権擁護委員候補者の推薦について		議案第20号	根尾東辺地に係る総合整備計画の変更について
	議案第4号	人権擁護委員候補者の推薦について		議案第21号	根尾西辺地に係る総合整備計画について
	議案第5号	本巢市教育委員会委員の任命について		議案第22号	市道路線の認定及び廃止について
	議案第6号	本巢市行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例について		議案第23号	令和元年度本巢市一般会計補正予算(第6号)について
	議案第7号	本巢市職員定数条例の一部を改正する条例について		議案第24号	令和元年度本巢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について
	議案第8号	本巢市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について		議案第26号	令和2年度本巢市国民健康保険特別会計予算について
	議案第9号	本巢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について		議案第27号	令和2年度本巢市後期高齢者医療特別会計予算について
	議案第10号	本巢市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		議案第28号	令和2年度本巢市企業用地造成事業特別会計予算について
	議案第11号	本巢市基金条例の一部を改正する条例について		議案第29号	令和2年度本巢市農業集落排水事業特別会計予算について
	議案第12号	本巢市印鑑条例の一部を改正する条例について		議案第30号	令和2年度本巢市水道事業会計予算について
	議案第13号	本巢市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について		議案第31号	令和2年度本巢市下水道事業会計予算について
	議案第14号	本巢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		議案第32号	本巢市副市長の選任について
	議案第15号	本巢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		議案第33号	本巢市固定資産評価員の選任について
	議案第16号	本巢市市営住宅条例の一部を改正する条例について		議案第34号	指定管理者の指定について
	議案第17号	公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例について			

議会開会のお知らせ

◆令和2年6月4日(木) (予定) **定例会**

詳細確定後ホームページに掲載します。傍聴におでかけください。



特集

自然豊かで 生物多様性に富む 山紫水明のまち

本巣市は南北に長く、標高10mの低地から標高1617mの高地までが存在し、1600m強の標高差を有しています。また、約8割を森林が占め、秀麗な山並みが見られます。山並みからは清流根尾川が水面を輝かせて南流し、各所に伏流水をもたらしています。まさに山紫水明のまちです。地形は多様性に富み、生息する生物群の多様性も非常に高く、国の特別天然記念物・ニホンカモシカ、岐阜県指定希少種・ハリヨをはじめ、多くの希少生物も見られます。本巣市自体が自然の博物館のような存在となっています。

ゲンジボタルのまち

本巣市は全国でも稀なゲンジボタルの長期観察地となっています。5月中旬に南部低地において発生するゲンジボタル前線は、次第に北上していきます。最も北部（根尾地域）の発生地では7月中旬となっています。約2か月に渡ってゲンジボタルが観察されると共に、発生数も多く、「ゲンジボタルのまち」と言えます。



▲ゲンジボタルの乱舞

海から高地までの生物群

標高差が大きい市は岐阜県内にも幾つかあります。しかしながら、本巣市は南部低地においては海から遡上して来るスズギ、ウキゴリ、ヌマチチブなどの生物が、北部高地ではブナ林、ノウゴウイチゴなどの希少な植物が観察されると共にニホンカモシカ、イヌワシの姿を見ることもできます。また、夏場には能郷白山等で渡り蝶・アサギマダラも観察できます。鳥類では希少なアオバズク、サンコウチョウなどの渡り鳥も観察されています。本巣市は、海と縁のある生物から主に平地に棲む生物、高山性の生物、そして移動性の生物までが観察できる岐阜県内有数の市であります。



▲翅を休めるアサギマダラ

香るアユ

根尾川上流域の河床には、アユの体色、香りを良くするとされる褐藻類、ラン藻類等の付着が多くみられます。それらの藻類を食べたアユの体色は黄金色になり、香りも高くなります。また、水は冷たく、瀬と淵が点在し、流速変化も大きくアユの身が引き締まってきます。根尾川は良質なアユを育む条件が整った清流となっています。それらの条件はアユだけでなく、他の魚種の生息にとっても適しており根尾川流域は多様な魚類の生息場となっています。



▲黄金色の体色で大きなアユ

伏流水

本巣市は市内各所で伏流水が湧いています。そのため湧水性のハリヨ、スナヤツメが生息し、冷水性のバイカモが自生し、初夏には可憐な花を咲かせます。



▲ハリヨ



▲バイカモ

進む生物多様性の劣化

全国各地で叫ばれている自然環境の悪化に伴う生物多様性の劣化は、本巣市でも例外ではありません。山林、農地の荒廃、一時的な大出水による土砂の流出と堆積、また人為的な工作物の影響等で、生息場を失っていく生物種も少なくありません。そこに、近年は外来生物の侵入により、生息場を奪われる、捕食されてしまう、交配により遺伝子をかく乱されてしまう等の生物種も増えています。従前から観察されている身近な生物が元気な姿を見せることは、人間にとっても安全な環境である証となります。大切に守り、後世に引き継ぎたいものです。

写真協力・どろんこ探検隊および他民間自然保護団体



議会だより編集特別委員会 ◎臼井 悦子 ○堀部 好秀 瀬川 治男 澤村 均 高田 浩視